

事務事業調書 平成23年度	No 659	課名 総務課	起案者 畑中有里
事業種別 施設管理		係名 庶務係	決裁者 平岩八尋
事務事業名 小学校施設管理事業		区分 継続	業務一覧No 1, 2, 3, 4, 5
			他係名
			他係業務一覧No

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり	予算科目(会計)	一般会計
	3 学校教育	予算科目(款・項・目)	50-10-5
	2 義務教育	総合計画以外の計画	43232
	3 安全で快適な教育環境	関連する総合計画の施策	
	1 安全な環境づくり	法定受託事務	無
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの(選択的事業)		
根拠法令	無		
実施方法	一部委託	委託先	民間企業
実施期間	開始 平成元年度	経過 22年目	終了 期間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	児童が	~になる	安心して学校生活を送ることができる
事務事業の内容	学校施設の維持管理や夜間警備等を実施し快適な教育環境を整えます。			
事務事業進捗状況	学校施設の維持管理や夜間警備等を継続しています。			
改善・対策の履歴				
環境配慮の視点	環境目標○-基本的施策○-具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	
総事業費 f=a+d+e	188,870	148,772	157,694	147,190	156,370	147,401	136,056	
財源計 a	187,515	147,417	156,489	145,985	155,165	146,196	134,851	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他()	0	0	10	0	30	88	40
	一般財源	187,515	147,417	156,479	145,985	155,135	146,108	134,811
受益者負担金	0	0	10	0	30	0	40	
職員人件費 d	1,355	1,355	1,205	1,205	1,205	1,205	1,205	
内訳 従事職員数	0.18	0.18	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0	

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名 (活動内容)	小学校施設管理委託	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	21.00
				実績b(単位)	0.00	0.00	21.00	
		指標名(単位)	委託業務を実施した学校数(校)	活動の総事業費f 実績	148,772	147,190	147,401	
				単位コストg=f÷b 実績	0.00	0.00	7,019.09	
	活動②	活動名 (活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				
	活動③	活動名 (活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5(1) 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	ガラス被害(件)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	5.00	5.00	3.00	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	遊具故障件数(件)	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	29.00	25.00	56.00	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
----	--

6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	教職員にも施設の点検・施錠の確認・校内警備などを依頼しました。
	成果1,2	

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する 今後とも委託業者にだけ任せるのではなく、教職員にも日常の点検等をお願いしていきます。
----	--

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	快適な学校生活が送れるよう施設の維持管理に努めます。